

交通事故に気をつけよう



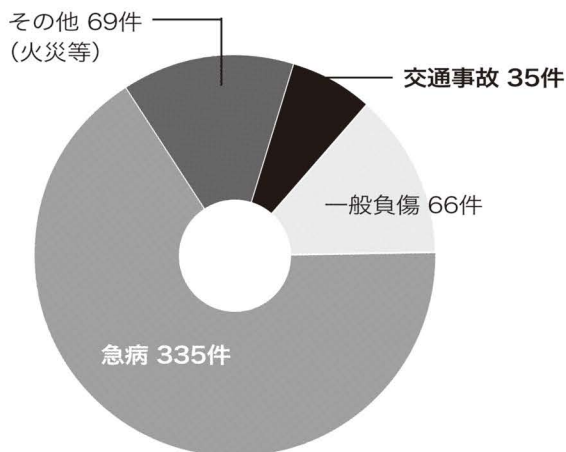
△「右！左！」と安全確認をして横断歩道をわたる新1年生（胡桃館小学校交通安全教室）

雪も解け、暖かな陽射しとともに、新たな学校生活が始まる春は、子どもたちが道路を歩いたり、自転車に乗る機会が増える季節です。4月、入学式や始業式を終えた町の小学校では、交通安全教室から児童を守るため、交通安全教室が行われました。教室では、道路の歩き方や横断歩道の渡り方を教える歩行指導や自転車教室が行われ、児童たちが正しい交通マナーを身に付けていました。

新しく小学校1年生になった子どもたちにとっては、お父さん、お母さんに手を握られて通った幼稚園や保育所の頃とは違い、自身で登下校をしなければいけません。初めて一人で歩く道路は危険がいっぱい。車やバイク、自転車を通る道路で行われた歩行指導では、緊張しながらも、先生の後ろを歩いて自分の足でしっかりと歩いていました。横断歩道を渡る時も、車やバイクが来ないか左右をしっかりと確認。「横断歩道の真ん中を歩いてくださいね」とお巡りさんに言われると、子どもたちは元氣よく「はい!!」と答えていました。

安全で安心な楽しい毎日を送るためにも、正しい交通マナーを学び、交通事故に遭わないように気をつけましょう。

DATA



○鶴田町の交通事故発生状況（H17～H26）

（単位：人）

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
発件数	60	59	53	49	46	37	55	46	44	44
負傷者数	81	76	74	61	59	44	76	51	69	56
死者数	1	1	0	2	1	0	1	1	1	1

（「平成26年交通事故のまとめ」参照）

△救急出場件数区分（H26鶴田町）



鶴田駐在所所長

笠嶋 恭夫 さん

交通マナーは知識であり、身にまとうものです。

皆さまには日ごろより、安全安心活動にご協力いただき、感謝しております。新学期も始まり、黄色い帽子の新1年生の元気な姿に、絶対に交通事故に遭ってほしくない心から願っております。

保護者やご家族の皆さまには、子どもが交通マナーを身に付けるまで、横断時の左右確認、駐車車両の前後の横断や遊戯の禁止、信号の見方等について繰り返し優しく教えてください。交通マナーは知識であり、身にまとうものです。

ドライバーの方にもお願いがあります。交通安全教室は全学校で春と秋の年2回行っていますが、住宅街を通る時などは、飛び出しや、自転車が急に右折横断するかもしれませんので、子どもや高齢者の皆さんに優しい運転をお願いします。

交通事故は不幸の落とし穴です。事故に遭わず起こさず、普通の生活の中にこそ幸せがあります。注意をしていれば、落とし穴は避けられます。特に交差点や見通しの悪いカーブは要注意です。

「行ってらっしゃい」「お帰り」。これらの言葉が途切れることの無いよう、皆さまのご協力をお願いします。

各小学校で交通安全教室が行われました。

◇歩行練習



この間まで幼稚園や保育所に通っていた子どもたちは、小学1年生となって歩く慣れない道路に緊張しながらも、横断歩道をおしやべりせず大きく手をあげて、元気よく渡りました（鶴田小）。

◇自転車教室



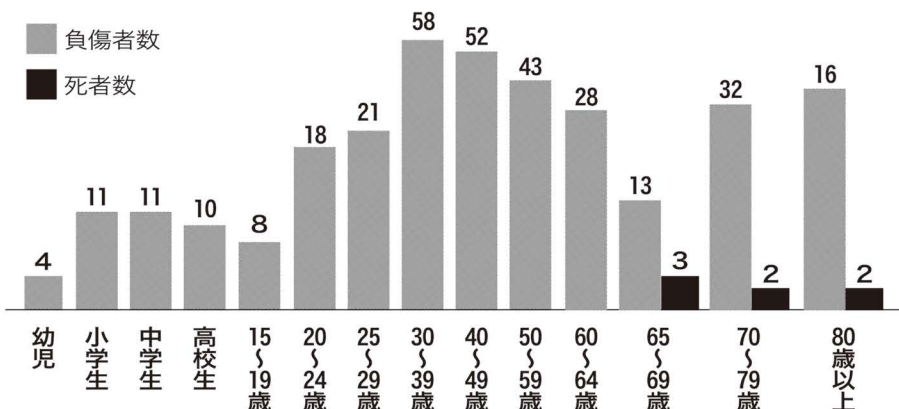
自転車に乗る時は、前後をよく確認して乗りましょう。道路に停めてある車や障害物を避けて通る時も、一度停止して後方を確認してから進みます。自転車から降りる時も、停止してから、後方から車が来ないかしっかりと確認して降りましょう（梅沢小）。



自転車で交差点を渡る時は、一度降りてから自転車の向きを変え、信号が青になったのを確認して渡りましょう。もちろん車が来ないか左右を確認します。教室では、お巡りさんが児童に自転車の正しい乗り方のお手本を見せていました（富士見小学校）。

○死傷者の年齢別交通事故発生状況（五所川原警察署管内）

（単位：人）



（「平成26年交通事故のまとめ」参照）